

一般社団法人 溶接学会 フェロー認定 当社理事（技術本部副本部長） 安西敏雄氏

於：（一社）溶接学会 第 84 回通常総会

<Toshio Anzai certified as a fellowship by Japan Welding Society>

（一社）溶接学会平成 28 年度春季全国大会が、2016 年 4 月 12 日（火）～14 日（木）の会期で、ATC（アジア太平洋トレードセンター O's 南 6 階コンベンションルーム 1, 2, B7, B8 会議室）において開催されました。各研究発表の内容は、「レーザ溶接・ブレージング」、「残留応力」、「界面現象」、「アーク溶接・物理」、「超音波接合」、「疲労」、「破壊」、「溶接変形」などの分野に分類されており、研究発表は四つの会場に分かれて行われました。

そして、2016 年 4 月 13 日（水）に開催された第 84 回通常総会では、当社としては初めて、理事（技術本部副本部長）の安西敏雄氏が（一社）溶接学会の平成 27 年度フェローとして認定されました。以下に、溶接学会のフェロー制度の概要と第 84 回通常総会におけるフェロー認定証贈呈の様子を紹介いたします。

1. 一般社団法人 溶接学会のフェロー制度

（一社）溶接学会では、溶接・接合の分野で貢献された会員の方々に対し、その貢献を称えるとともに、より多くの方々に周知され社会的認知度を高めることを目的として、平成 15 年度よりフェロー制度が設けられています。前述の目的に基づき、当該分野で学術的または産業的発展・普及・振興などに著しい貢献をされた会員の方に「溶接学会フェロー」の称号が贈られます。フェロー認定者は高い見識と責任感を持ち、国際社会において溶接工学の専門家の代表として活躍されることが期待されています。

2. 候補者の対象

フェロー認定候補者の対象は、次のいずれかにおいて著しい貢献がある（一社）溶接学会正会員とされています。

- (1) 正員歴 10 年以上で、これまで溶接・接合に関する工学・技術の分野で特に顕著な貢献をなし、現在も活動中の会員
- (2) 正員歴 15 年以上で、これまで社会あるいは本会の発展に特に顕著な貢献をなし、現在も活動中の会員



（一社）溶接学会 第 84 回通常総会におけるフェロー認定証贈呈の様子